

No. 1250

シーズン到来

一群馬・水上一

美しく雪化粧した谷川連峰。今年の冬は例年に比べ雪が少ないとか。早くから比較的、雪にめぐまれた谷川岳天神平スキー場は待ちきれないスキーヤーたちで賑わいを見せてています。思い思いのシュプールを描き、白銀の世界を楽しんでいます。初心者のためのスキー学校もオープン。土の上とは勝手がちがいなかなかうまくいきません。雪の上の一休みはまた格別さわやか夜はみんな揃ってゴーゴーパーティ。吹雪の中でもなんのその、やっと本格的なスキーシーズンの到来です。

駒づくりの里

直線的なデザインでたくましさを見せる三春駒。福島県のほぼ中央に位置する三春町。この町は郷土玩具三春駒で知られている。昭和53年のエトは午。これにちなんで三春駒の置物が今、盛んに造られている。三春駒がこの町に伝えられた記録ははっきりしない。しかし、1200年の昔、坂上田村麻呂が地元の豪族と戦ったさい、百騎の騎馬隊の活躍で勝利をおさめたという伝説が形になったものといわれている。時代はあっても伝統を受けついでいる人がいる。橋本彦治さん51才。この駒づくりをはじめて40年になる。今、ひとつの駒に打ち込む。筆先が駒の表面を走り、静かに時が過ぎる。何色もの色合わせが行われ、しだいにその姿を現わしていく。駒との無言の対話が続きたくましい三春駒が造られる。この地方でも生きた馬はほとんど見られなくなった。しかし三春駒はこうした人々の中で生きつづけている。